

第33回 全国中学校バスケットボール大会

輝く瞳 燃える情熱 ~若人の夢 この北の大地に~

【試合結果】

男子		決勝トーナメント(決勝)			
日時	平成15年8月 24日 (日)	14:10 ~			
会場	北海道立総合体育センター(きたえーる)	Mコート	第4試合		
結果	津軽	12 - 10	54		藤田
	(青森)	9 - 18			(大阪)
		12 - 11			
		14 - 15			
主審	藤垣 庸二 (本部)		副審	加藤 秀典 (北海道)	

【個人トータル表】

津軽(青森)						
	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
4	佐藤 郁也	13	1	4	2	1
5	下山 竜良	11	1	4	0	4
6	湊谷安玲久司朱	9	0	4	1	5
7	玉田 竜大	14	0	7	0	1
8	佐藤 孝明					
9	木村 元法					
10	小山 幸広	0	0	0	0	2
11	佐藤 浩貴	0	0	0	0	2
12	前田 悠也	0	0	0	0	0
13	山口 拓也					
14	三浦 昌喜					
15	田澤 瑞規					
16	大高 光展					
17	石澤 学					
18	木村 和希					
	合計	47	2	19	3	15

藤田(大阪)						
	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
4	本井 達也	11	0	4	3	1
5	奥野 好弘	10	0	4	2	2
6	竹田 聖弥	14	1	4	3	1
7	記 剣士郎	2	0	1	0	2
8	佐藤 真彦	0	0	0	0	2
9	平井 清貴	17	0	7	3	1
10	北風 智也					
11	大瀬良 厚記					
12	大久保 孝弘					
13						
14	田弘 聖太郎					
15						
16	大水 優太					
17	島田 晃司					
18	丸元 啓生					
	合計	54	1	20	11	9

【戦評】

No.78

東北ブロック1位で、186cmの#6湊谷のポストプレーを中心に勝ち上がってきた津軽中と、近畿ブロック1位 スピードあるプレーを中心に勝ち上がってきた藤田中の決勝戦は、「輝く瞳 燃える情熱 若人の夢 この北の大地に」のスローガンにふさわしい楽しみな一戦である。

1クォーター、どちらもマンツーマンディフェンスで始まる。津軽中は藤田中のディフェンスがルーズな間に#7玉田がランニングシュートで得点をあげる。藤田中は#9平井のジャンプシュート、ポストプレーで得点をあげ残り2分8-8の一進一退の展開で進む。津軽中#6湊谷のポストプレー、藤田中#4本井がスピードを生かしたカットインから得点をあげ、12-10で1クォーターを終了する。

2クォーターにはいると、津軽中が藤田中#4本井にフェイスガードディフェンスを行うが、それを逆について、藤田中#4本井がスペースを作り、そこに走り込み、タイミングのよいシュートを#6竹田、#5奥野が連続8点をあげ主導権を握る。たまたま残り3分で津軽中がタイムアウトをとり立て直しをはかるとリズムが戻り着実に加点をするが差は縮まらず、21-28の藤田中リードで終了する。

3クォーターにはいると津軽中は2-2-1のゾーンプレスから3-2ゾーンディフェンスに変えると藤田中が攻めあぐみ、そのすきに津軽中が連続ゴールを決め、残り3分で27-30の3点差になるが、藤田中は焦ることなく#9平井を使い得点し、33-39で3クォーターを終了する。

4クォーターに入っても両者のリズムは変わらず、残り3分46秒で津軽中の#6湊谷が5ファウルで退場となる。一気に藤田中は突き放しにかかるが、津軽中も全員で足を使ったプレスディフェンスで粘りを見せる。しかし点差は縮まらず、47-54で追いつがる津軽中を藤田中が破り、初優勝を手に入れた。決勝戦にふさわしいすばらしい試合であった。

北本 貴史(江別第二)

【トーナメント戦績】

